

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/28 （7/21との比較）	7/28 （7/21との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.03% （+0.14）	89.01円 （+0.42%）	+2.3% 2017年1Q	0.75%	5月のGDP（国内総生産）が市場予想を上回り、景気拡大への期待が一段と強まる中、国債利回りは上昇。主要産油国の原油輸出削減の決定や米国の原油在庫減少が材料視され、原油価格が上昇し、カナダドルは対円で上昇。	緩やかに景気拡大が続いている中、PMIや雇用統計で景気の勢いが確認されるか注目。新興国の経済や原油価格などの動向も引き続き注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.08% （▲0.14）	35.34円 （▲0.07%）	-0.4% 2017年1Q	9.25%	中銀は市場予想通り利下げを実施。声明文で更なる追加利下げの可能性に言及したことなどから、国債利回りは低下。レアルは小動きとなる中、対米ドルで上昇、対円で下落。	鉱工業生産などの発表を予定。同国議会も審議を再開。中銀の政策スタンスなどから債券市場は堅調に推移すると見込むも、為替市場は政治情勢などから神経質な展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.75% （+0.04）	6.23円 （▲1.11%）	+2.8% 2017年1Q	7.00%	堅調な経済指標が散見されたものの、主要貿易相手国である米国のGDP（国内総生産）が市場予想を下回ったことが嫌気され、ペソは対米ドル、対円ともに下落。国債利回りは上昇。	製造業PMIなどの発表を予定。上昇基調を維持するか注目。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉や、中銀の金融政策の動向をにらみつつ、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/28 （7/21との比較）	7/28 （7/21との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.68% （▲0.01）	88.40円 （+0.49%）	+1.7% 2017年1Q	1.50%	中銀が重視する変動の大きい品目を除くインフレ率は市場予想並みの結果。国債利回りは小幅低下。資源価格が総じて堅調に推移する中、オーストラリアドルは対円で上昇。	1日の金融政策決定会合では政策金利が据え置かれる見通し。4日の金融政策報告書で示される、景気と為替についての中銀の見方に注目。小売売上高、貿易収支などの発表も予定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.97% （+0.06）	83.15円 （+0.40%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	貿易収支は黒字幅が拡大。中銀総裁補佐は講演でインフレ圧力が比較的抑制されていると発言し、当面の金融政策の据え置きを示唆。商品市況が堅調に推移する中、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	雇用統計の発表を予定。雇用の増加ペースが緩やかになっていることが確認できる見込み。企業活動見通し調査も高水準ながら勢いが鈍っていることが示され、現状の金融政策が長期間維持される見方が強まると予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.67% （+0.01）	13.97円 （+1.56%）	+2.6% 2017年1Q	0.50%	鉱工業信頼感指数は改善。6月小売売上高は前月比でマイナスを記録するも、5月分の高い伸びも考えると消費は堅調に推移。原油価格が上昇したこともあり、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	景気は緩やかなペースでの回復局面を続ける公算。製造業PMIの発表を予定。良好な結果を維持しつつも、前月から加速する内容とはならない見込み。金融市場は引き続き原油動向に注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期価格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		7/28 （7/21との比較）	7/28 （7/21との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BBB-	7.52% （+0.07）	8.50円 （▲1.22%）	+1.0% 2017年1Q	6.75%	生産者物価指数は鈍化。OECD（経済開発協力機構）は同国経済の調査報告を公表し、構造改革の必要性を指摘。国債利回りは上昇。ランドは対米ドル、対円ともに下落。	貿易収支や製造業PMIなどの発表を予定。次週に大統領不信任投票を控え、同国の先行き不透明感の強い政治情勢に注目が集まりやすく、債券・為替市場ともに不安定な展開を予想。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.78% （+0.01）	0.83円 （▲0.36%）	+5.0% 2017年1Q	4.75%	国会は2017年の追加歳出や国債発行の増額を承認。追加歳出により財政赤字が対GDP（国内総生産）比で拡大が見込まれることなどから、国債利回りは小幅上昇。市場の円高傾向を受けて、ルピアは対円で下落。	インフレ統計などの発表を予定。国債発行の増額が意識される中、国債利回りは上昇しやすい地合いを予想。一方、中銀はルピアの為替相場の安定性を重視する姿勢を維持する中、ルピアは底堅く推移する見込み。
	Baa3	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.55% （+0.04）	1.73円 （+0.06%）	+6.1% 2017年1Q	6.25%	ビハール州議会選挙は与党が勝利。同州は同国内でも人口規模が大きく、現政権の基盤はより強固に。国債利回りは上昇。ルピーは対米ドル、対円ともに上昇。	金融政策決定会合などを予定。インフレ鈍化を受けて市場で利下げ期待が高まる中、中銀の発表する見通しに注目。債券・為替市場ともに同イベントに左右される展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

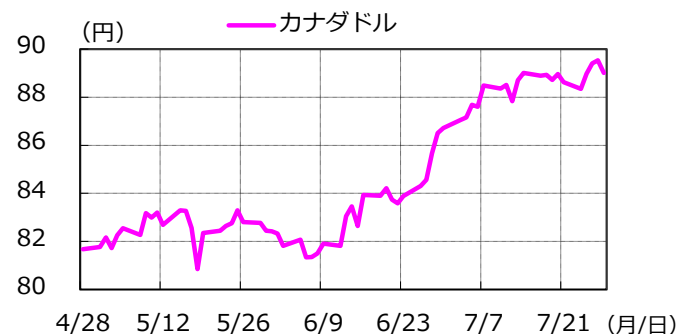
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

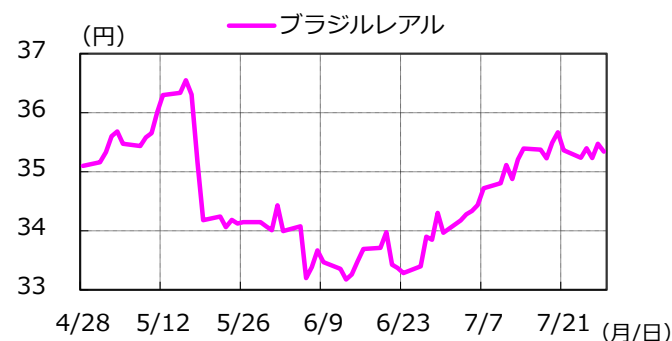
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/4/28～2017/7/28

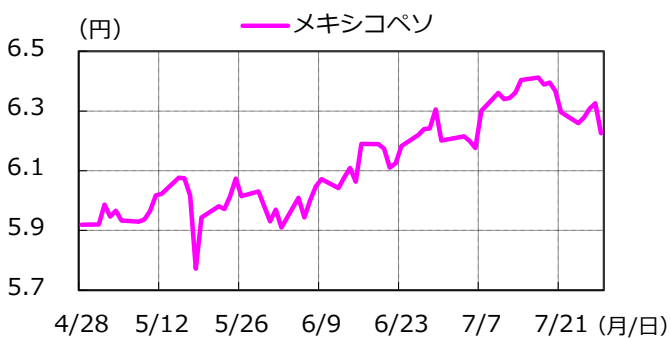
カナダ



ブラジル



メキシコ

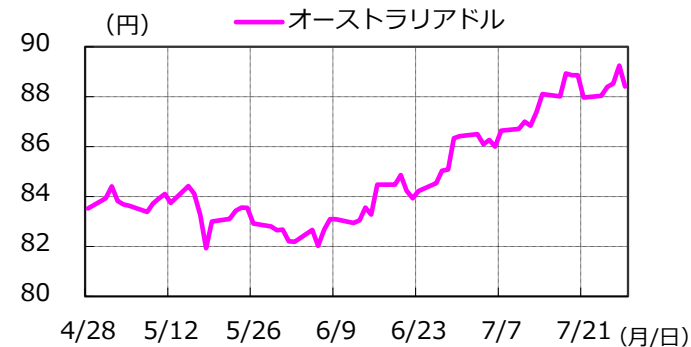


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

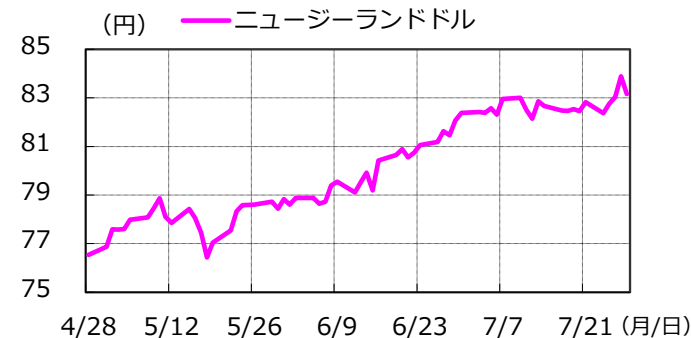
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/4/28～2017/7/28

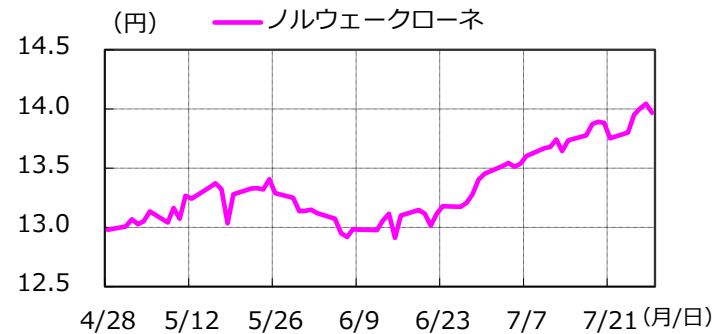
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

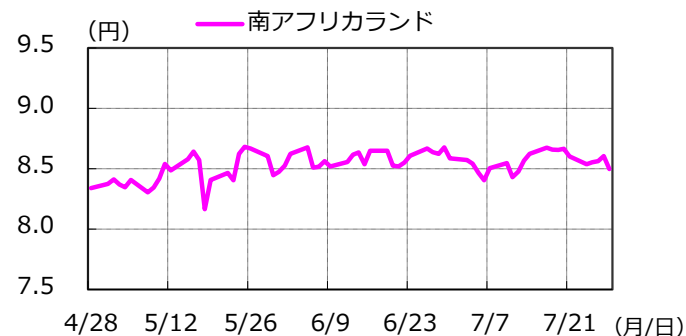


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

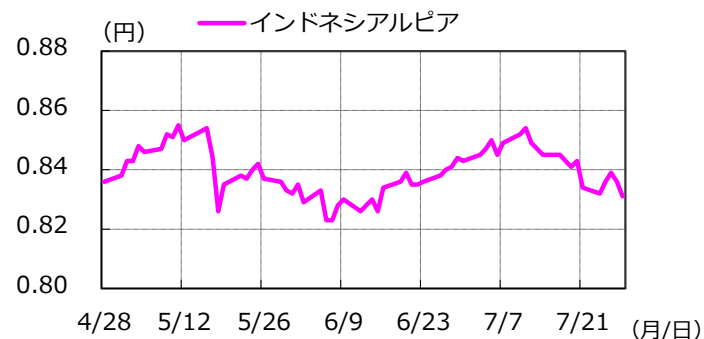
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/4/28～2017/7/28

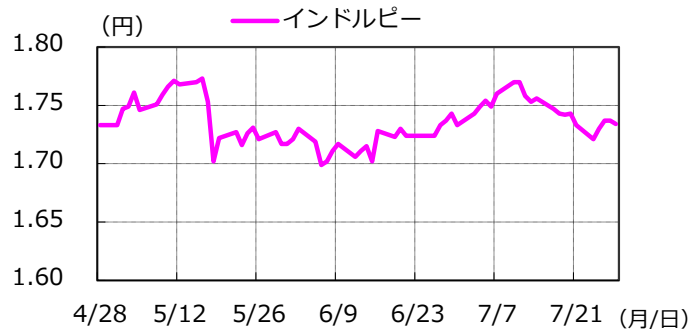
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。